

2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社ネットマーケティング 上場取引所 東
 コード番号 6175 URL <https://www.net-marketing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 宮本 邦久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 澤野 誠 (TEL) 03-6894-0139
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の業績 (2022年7月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,276	△2.7	130	△49.4	138	△46.6	21	△90.1
2022年6月期第1四半期	1,312	—	257	—	260	—	217	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	1.43	1.42
2022年6月期第1四半期	14.54	14.46

2022年6月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、2022年6月期第1四半期の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	5,988	3,208	53.6
2022年6月期	6,096	3,267	53.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 3,208百万円 2022年6月期 3,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年8月10日付の「ビーシーピーイー ブロンズ ケイマン エルピーによる当社株式等に対する公開買付けの実施及び意見表明に関するお知らせ」及び2022年10月19日付の「株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、公開買付者による公開買付け及びその後の一連の手續により、当社株式が2022年12月16日に上場廃止予定であることから2023年6月期の配当予想は記載しておりません。

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

2022年8月10日付の「ビーシーピーイー ブロンズ ケイマン エルピーによる当社株式等に対する公開買付けの実施及び意見表明に関するお知らせ」及び2022年10月19日付の「株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、公開買付者による公開買付け及びその後の一連の手續により、当社株式が2022年12月16日に上場廃止予定であることから2023年6月期の業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	15,082,000株	2022年6月期	15,024,800株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	228株	2022年6月期	188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	15,058,465株	2022年6月期1Q	14,938,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年8月10日付の「ビーシーピーイー ブロンズ ケイマン エルピーによる当社株式等に対する公開買付けの実施及び意見表明に関するお知らせ」及び2022年10月19日付の「株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、公開買付者による公開買付け及びその後の一連の手續により、当社株式が2022年12月16日に上場廃止予定であることから2023年6月期の業績予想は記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2022年7月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が減少傾向にあり、社会経済活動が正常化していく中で、急激な円安による物価高等により個人の消費マインドの冷え込みが懸念され、依然として不透明な状況が依然として続いております。

当社が事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2021年の1年間で13歳～59歳の各年齢階層において9割を超えて利用され、全体の利用割合は82.9%(前年比0.5%減)と幅広い年代で利用されております(注)。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルメディアの利用割合は78.7%(前年比4.9%増)と年々上昇を続けております(注)。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスはさらなる市場拡大が期待されております。

こうした環境のもと、当社は中核事業であるアフィリエイト広告事業の拡販を進めるとともに、トレーディングデスク事業のさらなる規模拡大に努めてまいります。また、メディア事業においては、認知及び持続的な収益の拡大を実現するため、認知拡大施策やさらなるサービスの拡充に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は12億76百万円(前年同期比2.7%減少)、営業利益は1億30百万円(前年同期比49.4%減少)、経常利益は1億38百万円(前年同期比46.6%減少)、四半期純利益は21百万円(前年同期比90.1%減少)となりました。

(注) 出所：総務省「令和3年通信利用動向調査の結果」

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

① 広告事業

広告事業は、アフィリエイト広告やソーシャル広告等の領域においてプロモーションの戦略立案から運用支援までを一貫して行うコンサルティングサービスを提供しております。

当事業においては、FXや暗号資産市場が活況だったことにより金融関連が好調に推移したため、当事業の売上高は3億83百万円(前年同期比28.2%増加)、セグメント利益は2億7百万円(前年同期比54.6%増加)となりました。

② メディア事業

メディア事業は、恋愛マッチングアプリ「Omiai」を提供しております。

「Omiai」では、アプリの認知拡大及びブランド力向上のため、ブランドアンバサダーである「のん」さんのWeb-CMを公開しております。また、まじめな出会いや恋愛に関わる全ての人に向け、リアルな情報提供をする恋愛メディア『コイバス by Omiai』を2022年9月28日より開始いたしました。なお、経費削減や効果的・効率的なプロモーション実現のため内製化を進めたものの、当事業の売上高は8億92百万円(前年同期比11.9%減少)、セグメント利益は1億12百万円(前年同期比62.8%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ1億8百万円減少し、59億88百万円となりました。これは主に売掛金が1億7百万円増加したものの、現金及び預金が2億27百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、前事業年度末と比べ48百万円減少し、27億80百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる未払金が98百万円増加したものの、買掛金が51百万円減少及び未払法人税等が83百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末と比べ59百万円減少し、32億8百万円となりました。これは四半期純利益を21百万円計上したものの、利益剰余金が配当により90百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末と同水準の53.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月10日付の「ビーシーピーイー ブロンズ ケイマン エルピーによる当社株式等に対する公開買付けの実施及び意見表明に関するお知らせ」及び2022年10月19日付の「株式併合、単元株式数の定めの変更及び定款一部変更に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、公開買付者による公開買付け及びその後の一連の手続により、当社株式が2022年12月16日に上場廃止予定であることから2023年6月期の業績予想は記載しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,120,490	3,892,735
売掛金	1,291,131	1,398,587
その他	165,519	131,531
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	5,577,131	5,422,843
固定資産		
有形固定資産	86,342	83,127
無形固定資産	138,586	195,572
投資その他の資産	294,590	287,048
固定資産合計	519,519	565,748
資産合計	6,096,650	5,988,591
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,022,979	1,971,162
未払法人税等	95,089	11,928
その他	711,029	797,221
流動負債合計	2,829,098	2,780,311
負債合計	2,829,098	2,780,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	423,439	428,165
資本剰余金	413,439	418,165
利益剰余金	2,430,808	2,362,120
自己株式	△135	△171
株主資本合計	3,267,551	3,208,279
純資産合計	3,267,551	3,208,279
負債純資産合計	6,096,650	5,988,591

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,312,306	1,276,565
売上原価	300,866	308,954
売上総利益	1,011,439	967,610
販売費及び一般管理費	753,967	837,424
営業利益	257,471	130,186
営業外収益		
受取利息	15	18
受取報奨金	2,614	2,495
受取保険金	—	6,113
その他	226	131
営業外収益合計	2,856	8,758
営業外費用		
為替差損	52	2
その他	0	0
営業外費用合計	52	2
経常利益	260,275	138,942
特別利益		
受取保険金	100,000	—
特別利益合計	100,000	—
特別損失		
情報セキュリティ対策費	45,660	—
公開買付対応費用	—	103,091
特別損失合計	45,660	103,091
税引前四半期純利益	314,615	35,850
法人税、住民税及び事業税	96,679	7,900
法人税等調整額	761	6,490
法人税等合計	97,440	14,390
四半期純利益	217,174	21,459

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。これによる四半期財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(公開買付けの終了並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会において、ビーシーピーイー ブロンズ ケイマン エルピー(以下「公開買付者」といいます。)による当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)及び本新株予約権(注1)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対しては、当社株式を本公開買付けに応募することを推奨し、本新株予約権の保有者(以下「本新株予約権者」といいます。)の皆様に対しては、本公開買付けに応募するか否かについて、当該本新株予約権者の皆様のご判断に委ねることを決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が、本公開買付け及びその後の一連の手続により、当社の株主を本存続予定株主(注2)のみとすることを企図していること並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

本公開買付けは2022年9月26日をもって終了し、本公開買付けの結果、2022年9月30日(本公開買付けの決済の開始日)に当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に異動が生じております。

詳細については、2022年9月27日付で公表した「ビーシーピーイー ブロンズ ケイマン エルピーによる当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご参照下さい。

(注) 1. 「本新株予約権」とは、以下の新株予約権を総称していいます。

- ①2013年5月29日開催の当社株主総会の決議及び2013年6月26日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された新株予約権(行使期間は2015年10月1日から2023年5月26日まで)
- ②2013年5月29日開催の当社株主総会の決議及び2014年4月16日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された新株予約権(行使期間は2016年4月17日から2023年5月26日まで)
- ③2014年5月29日開催の当社株主総会の決議及び2014年7月23日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された新株予約権(行使期間は2016年7月24日から2024年5月26日まで)
- ④2016年4月18日開催の当社株主総会の決議及び2016年5月10日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された新株予約権(行使期間は2018年5月11日から2026年4月17日まで)

2. 「存続予定株主」とは、以下を総称していいます。

- ①公開買付者
- ②長野貴浩氏
- ③不応募合意株主(株式会社Macbee Planet)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
広告代理店収入	285,366	—	285,366	—	285,366
会員課金収入	—	976,688	976,688	—	976,688
その他	13,851	36,399	50,250	—	50,250
顧客との契約から生じる収益	299,218	1,013,088	1,312,306	—	1,312,306
外部顧客への売上高	299,218	1,013,088	1,312,306	—	1,312,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,513	—	1,513	△1,513	—
計	300,731	1,013,088	1,313,819	△1,513	1,312,306
セグメント利益	134,450	301,717	436,167	△178,695	257,471

(注) 1. セグメント利益の調整額△178,695千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
広告代理店収入	374,698	—	374,698	—	374,698
会員課金収入	—	857,524	857,524	—	857,524
その他	8,926	35,415	44,342	—	44,342
顧客との契約から生じる収益	383,625	892,940	1,276,565	—	1,276,565
外部顧客への売上高	383,625	892,940	1,276,565	—	1,276,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,364	—	5,364	△5,364	—
計	388,990	892,940	1,281,930	△5,364	1,276,565
セグメント利益	207,903	112,219	320,123	△189,937	130,186

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,937千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式併合、単元株式数の定め廃止、定款の一部変更及び自己株式の消却)

当社は、公開買付者からの要請を受け、2022年10月19日開催の取締役会において、2022年11月28日開催予定の臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」といいます。）に、「株式併合の件」、「単元株式数の定め廃止の件」及び「定款一部変更の件」をそれぞれ付議すること、さらに本臨時株主総会において株式併合に関する議案が原案どおり承認可決されることを条件に、会社法第178条の規定に基づき自己株式を消却することを決議いたしました。

なお、当社株式は、上記手続の過程において、株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程に定める上場廃止基準に該当することとなります。これにより、当社株式は、2022年12月16日をもって上場廃止となる予定です。

詳細については、2022年10月19日付で公表した「株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更に関するお知らせ」及び「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照下さい。